

第5部 これからの兵庫の将来像

第5部では、第2部で示した兵庫の特性や時代潮流、第3部で示した県民意見や地域ビジョンの改訂から見ためざす姿の方向、さらには第4部で示した地域で顕在化してきた課題群を基に、展望年次となる2040年に向けて兵庫がめざす姿を、4つの社会像を踏まえた12の将来像として描き、さらにそれを包括するものとして県民が共有する兵庫の未来像を示す。

1 将来像の方向性

県民意見、地域ビジョンの改訂方向におけるめざすべき姿(第3部)、見えてきた課題群(第4部)を踏まえ、「豊かな生活」「世界に開かれた兵庫」「持続する地域構造」の3つの基本課題から、将来像の方向性を示す。

(1) 「豊かな生活」から見た将来像の方向性

潮流変化・県民意見から抽出した課題群 県民の夢・願い	将来像の方向性
家族が小さくなる中でのつながりの構築 世帯数増加の中で進む世帯人員の減少 世帯の単身化・高齢化進展による生活不安の増加 未婚化・晩婚化の進行・出生率の低下 減らない児童虐待 家族のつながり再生 人と人のつながり構築	家族のつながりが深まる社会づくり(家族の絆の再構築、つながりのある住まい方) 多縁社会の構築(広く緩やかな縁やつながりの育み) 子どもが健やかに成長する地域づくり(地域ぐるみでの子育て) 誰もが集う楽しみやにぎわいのある社会づくり(交流・にぎわいの拠点)
地域で支え合い創り出す安心な生活基盤の構築 地域でのつながりの希薄化 要介護高齢者の増加 減らない自殺者 子どもを安心して産み育てやすい社会 多様な主体の連携による地域づくり	地域の中で支え合うしくみの構築(地域での子ども、高齢者の見守りによる安心の確保) 多様な主体が連携して創り出す安心な暮らし(安心な医療・介護体制) 誰もが安心して生活できるしくみの構築(生活関連サービスが集積した安心拠点づくり)
豊かなライフスタイルの実現 格差感の広がり 利便性の裏に潜む情報通信技術の危うさ 生活に根ざした文化の醸成 幸せを実感できる社会 情報通信技術を活用した地域の活性化	やりがいや生きがいにあふれた社会づくり(ボランティア活動、生涯学習) 自然や文化に親しむ健康な生活(二地域居住、文化・芸術、健康づくり) 情報通信技術を活用した豊かな暮らしづくり(健康、学びなど生活の各分野での活用)
雇用環境の整備と多様な働き方の実現 経済活動の担い手の減少 雇用格差の広がり、低所得者層の増加 女性の離職理由として高い「育児」と「介護」 進んでいない65歳以上高齢者・障害者雇用 社会のスタートラインに立てない若者たち 社会貢献活動の新たなしごととしての成長 多様な働き方の実現 一人ひとりが自分の役割、存在意義を実感できる社会	地域に根ざし社会を変えるしごとの創出(社会的起業、地域課題解決型NPO) 自らの能力と可能性を發揮し安心して働ける環境(若者への職業教育、実践的な職業訓練、ワークライフバランスの推進) 年齢、性別、障害の有無に関わらず誰もが活動できるしくみが整った社会づくり(高齢者、女性、障害のある人など誰もが働きやすい環境づくり)

(2)「世界に開かれた兵庫」から見た将来像の方向性

潮流変化・県民意見から抽出した課題群 県民の夢・願い	将来像の方向性
<p>世界や地域でさまざまな結びつきが求められる経済・産業 低成長からマイナスへの移行が予測される兵庫経済</p> <p>地域間で偏りながら減少する事業所・就業者 高齢化や環境など高まる社会ニーズの産業化 国際的な生産力・技術力を生かしたものづくり 地域としての発展</p> <p>優れた技術をもつ企業が集積し、新産業を創出する地域</p> <p>充実が進む県内研究・技術基盤のさらなる活用</p> <p>防災、環境、福祉の先進地化による世界貢献</p>	<p>未来を切り拓く先導的産業・プロジェクトの立地（科学技術基盤の活用、国際競争力のある高度なものづくりの推進）</p> <p>兵庫が持つ課題解決の技術で世界に貢献（防災・環境など兵庫が有する先進的技術での世界貢献）</p> <p>地域資源や地域の強みを生かしたしごとの創出（地域資源を生かした住民起業の支援、生活に結びつくしごとの育成）</p>
<p>拡大・深化が求められる多文化との交流・共生 国内外で繰り広げられる誘客競争</p> <p>日常生活でさまざまな課題を抱える外国人県民</p> <p>地域資源を生かして国内外を魅了し交流が活発な地域</p>	<p>人・モノ・情報の活発な交流（体験・参加型ツーリズム、物流・情報基盤の活用）</p> <p>外国人にとっても魅力ある暮らしの場の形成（しごとや生活環境の整備）</p> <p>文化の多様性を受入れ誰もが暮らしやすい社会づくり（充実した生活基盤、文化の相互理解）</p>
<p>兵庫を支える人材の育成・集積</p> <p>自ら考える力や若者の海外志向の弱まり</p> <p>進まない高度人材の集積</p> <p>創造性豊かな人材が輩出される地域</p>	<p>国内外の課題解決に貢献する人材の育成（共生力、創造力、協調性、地域への愛着・誇りをもった人づくり）</p> <p>世界で活躍する兵庫発の人材づくり（世界で通用する創造力、協調性をもつ人づくり）</p> <p>人・モノ・情報の活発な交流（再掲）</p>

(3)「持続する地域構造」から見た将来像の方向性

潮流変化・県民意見から抽出した課題群 県民の夢・願い	将来像の方向性
<p>人と自然環境との関係性の再構築 開発、空間管理放棄などの影響で絶滅の恐れある生物の増加 多自然地域の耕作放棄地の拡大・森林の荒廃 世界的な食糧需給逼迫の可能性 多様な主体の農への参画、農の6次産業化による農の再生 人と自然が共生した暮らしや環境適合型の地域の構築</p>	<p>人と自然の共生・持続（多様な生物との共存） 豊かな自然の恵みを生かした産業の持続（新たな農林水産業の展開） 地域間連携による自然環境の維持、再生（上下流連携、温室効果ガスの最小化） 自助・共助・公助による防災・減災</p>
<p>地域発の気候変動対応 二酸化炭素の大量放出などによる地球規模での温暖化の進行 世界的なエネルギー需給逼迫の可能性 都市への人口集中によるヒートアイランド現象の発生 集中豪雨の発生頻度の増加 再生可能エネルギーの活用、普及による脱化石燃料化</p>	<p>再生可能エネルギーの活用と地域の低炭素化（エネルギー自給率上昇、エコタウン、環境産業） 環境と調和するしくみの浸透（エコライフ、省エネ型の地域構造） 地域間連携による自然環境の維持、再生（上下流連携、温室効果ガスの最小化）（再掲） 自助・共助・公助による防災・減災（再掲）</p>
<p>地域を支える人材育成・基盤の強化 地域づくりの担い手不足 県内資金の域外流出による地域活力の低下 行政だけで公共的サービスを担うことの限界 増加する社会資本の維持更新費 住民主体の地域運営による魅力のある地域づくり</p>	<p>地域に貢献する人材の育成（新たな担い手参画、専門人材育成） 地域資源や地域の強みを生かしたしごとの創出（地域資源を生かした住民起業の支援、生活に結びつくしごとの育成）（再掲） 多様な主体の地域経営への参画（住民主導の地域運営、地域運営のルール化、地域内での資金循環）</p>
<p>地域ごとに異なる課題への対応 多自然地域の田畑、森林など価値が失われる地域資源 多自然地域など、身近に生活関連機能や職がない地域の増加 多自然地域などの中心都市周辺における都市機能・居住機能の拡散 世代交代が進みにくいニュータウン 高層マンション立地による人口増加と垂直コミュニティ形成 都市部での高齢単身世帯数・率双方の増加 生活に必要な機能が身近にある便利な地域 地域資源と空き地の活用による地域活性化</p>	<p>地域固有の課題の解決による地域の再生（持続する集落づくり、多自然地域の市街地の中心地づくり、郊外のニュータウン再生、都市部での多世代共住の地域づくり） 地域の中で支え合うしくみの構築（地域ぐるみの子育て、地域での見守り）（再掲） 誰もが安心して生活できるしくみの構築（生活関連サービスが集積した安心拠点づくり、歩いて暮らせるまちづくり）（再掲）</p>
<p>深化が求められる地域間連携・交流 多自然地域を中心とした空き家の増加と荒廃 多自然地域の耕作放棄地の拡大・森林の荒廃 自然の中と都会の両方での暮らし 多様な交流・連携により支え合う地域と地域</p>	<p>広域、狭域などさまざまな地域間連携（地域間・都市間連携、広域連携） アジアをはじめとする海外との連携・交流拡大 人・モノ・情報の活発な交流（再掲） 二地域居住で多様化するライフスタイル</p>

2 兵庫の将来像

全県ビジョンの4つの社会像「創造的市民社会」「しごと活性社会」「環境優先社会」「多彩な交流社会」のもと、2040年に兵庫がめざす姿を12の将来像として示す。

この将来像は、さまざまな機会において県民との意見交換の中から出された意見・提案を盛り込んだほか、ビジョン策定後に顕著になった時代潮流を受けて実施した「時代潮流の調査研究(平成19~21年度)」などの成果や、県内各地で始まっている先導的な取組や変化の兆し、さらには改訂した地域ビジョンを集約した全県共通のめざす方向も踏まえて、導き出した。

(1) 創造的市民社会

「個」が自立しながらも、人や地域とのつながり、支え合いの中で、生活の基盤や安全安心が確保され、誰もが認め合い、健康で、幸福を追求した生き方ができている。また、さまざまな主体の連携により、世界や地域の持続と発展に貢献する次世代の人材がたくましく育っている。

将来像1 人と人のつながりで自立と安心を育む

世代や地域を超えてつながる縁や絆の中で、誰もが認め合い、自立して安心した生活を営む兵庫

将来像2 兵庫らしい健康で充実した生涯を送れる社会を実現する

誰もが個性を生かしたライフスタイルを確立し、社会との関わりの中で、幸せを実感できる兵庫

将来像3 次代を支え挑戦する人を創る

課題に挑戦する意欲を持ち、世界や地域の持続と発展に貢献しうる人が育つ兵庫

(2) しごと活性社会

優れた技術、知的基盤を生かした新たな産業による成長や、地域産業の世界展開などにより、兵庫経済が世界と一体で成長している。また、地域資源を発掘・再評価し、徹底した活用を図ることで地域に根ざした新たなしごとが生み出されている。その中で、誰もが多様な働き方を選択しながら持ち味を発揮し、それぞれの生きがいを実現している。

将来像4 未来を拓く産業の力を高める

オンリーワンの技術力、優れた知的基盤を生かし、未来を切り拓く産業・事業が展開する兵庫

将来像5 地域と共に持続する産業を育む

地域の資源を生かした固有の産業や新たな生活産業が発展する兵庫

将来像6 生きがいにあふれたしごとを創る

誰もが持ち味を発揮できる多様な働き方が実現する兵庫

(3) 環境優先社会

豊かな自然を損なわず、その恵みを利活用することで、自然と人の営みの双方を循環の中で共生させる自給持続の地域づくりが進んでいる。また自然の脅威にも対応し災害を減じながら、安全安心の生活環境を創り出されている。

将来像7 人と自然が共生する地域を創る

豊かな自然と共生するライフスタイルにより、持続可能な環境を創り出す兵庫

将来像8 低炭素で資源を生かす先進地を創る

省エネ・創エネ・資源再利用を推進し、環境負荷の低い地域持続のしくみが整う兵庫

将来像9 災害に強い安全安心な基盤を整える

社会基盤や地域共助のシステム充実を通じて、災害や危機に強い安全安心を育む兵庫

(4) 多彩な交流社会

地域人材の育成や空き空間の有効活用などで自立や交流の礎が育まれ、各々の地域が個性を高めている。また、まちからむらへの人の流れ、世界とのつながりなど、地域と地域のつながりで地域の元気が生み出されている。

将来像10 地域の交流・持続を支える基盤を整える

多様な主体が地域経営に参画し、地域を取り巻くさまざまな基盤が有効活用されている兵庫

将来像11 個性を生かした地域の自立と地域間連携で元気を生み出す

集落や都市の潜在力が引き出された個性的な自立地域が連携・交流し、活力が満ちる兵庫

将来像12 世界との交流を兵庫の未来へ結ぶ

世界の各地域と直接つながり、相互に補完しながら共生・成長する兵庫

3 兵庫の未来像 - 創造と共生の舞台・兵庫 -

「創造的市民社会」「しごと活性社会」「環境優先社会」「多彩な交流社会」の社会像のもとに見いだした新たな12の将来像を横断する、2040年にめざすべき兵庫の姿を未来像として示す。

人口減少などビジョン策定から10年間の潮流変化やそこから生じる地域の課題、その一方で得られたこれまでの取組の成果や県民の意見・提案から導き出した将来像を踏まえると、人や地域がもつ個性をつなぎ、活力と豊かさを生み出すことが兵庫の未来像を描くための基本となる。

具体には、個性豊かな人材とそれらが持つ経験・知恵の蓄積、それぞれの地域に根ざす多彩な歴史・文化や貴重な自然、厚みのある社会資本や企業群などさまざまな地域資源や、それらを生み出し、幾世代にわたって支えてきた多様な地域を兵庫のかけがえのない財産として守り、次代へ継承していくとともに、人と人、人と地域、地域と地域をつなぎながら最大限に生かしていく。

さらに、その上に立って、空き空間の活用などを通じて暮らしの快適さや安心を確保することで地域を自立させ持続可能なものにしていくとともに、広く世界を見据え、海外各国とともに発展する産業や兵庫ならではの価値・魅力を生かしたしごとを生み出すことなどによって、経済的な豊かさだけでなく、生きがいや希望など県民の幸福感を高めていくことを重視した豊かさを創り出し、誰もが訪れ、住み続けたいと思える兵庫にしていく。

こうした考え方のもと、地域社会を構成するそれぞれの主体が創意工夫で、新たな挑戦を生み、さまざまな豊かさを創り出すとともに、人の絆や自然と共に生きていることを実感できる「創造と共生の舞台・兵庫」を、兵庫にかかわる人々すべてが共有する2040年にめざすべき姿とする。

この未来像に向かって、兵庫が大きな変革が求められている時代の起点となり、新しいライフスタイルや経済社会システムを創造していく。

(参考) 各将来像の構成

【将来像】1 人と人のつながりで自立と安心を育む

誰もが、家族の絆と世代や地域を超えた多様な縁を支えられながら、互いに認め合い、自立し安心した生活を営み、つながりの豊かさから幸せを実感できる暮らしが実現している。

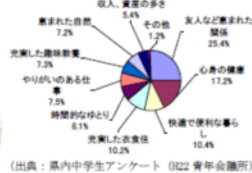
キーワード

- ・家族の絆、つながり再生
- ・地域まるごと家族
- ・広くゆるやかな多様な創生
- ・空き空間を活用したつながり
- ・所有から共有・利用
- ・出会い、結婚
- ・安心の出産・育児
- ・共に支え合う社会
- ・誰もが利用しやすいものやサービス

夢提案

物がたくさんあっても、お金がたくさんあっても人の「幸福度」が低い水準だと「自分たちは幸せ」という実感がわかない。僕の住まわすまちを「住みたいまち」にしたいと思う。(加古川市在住中学生)

【中学生が考える幸せ、豊かさ】



冒頭では、各将来像の位置づけ、要点を簡潔に記載。

各将来像のキーワードを記載。

各将来像に関連する県民からの提案を記載。

将来像のあらまし

- 家族の絆の大切さと、結婚や出産、子育ての喜びを実感できる**
 - ①家族で過ごす機会が増え、互いの絆を実感できる
 - ②社会全体で、出会いや結婚を応援するとともに、地域や職場が連携し、安心して子どもを産み、育てる環境が整っている
- 地域全体が家族のようにつながり、豊かさや安心を実感できる「地域まるごと家族」が実現している**
 - ①空き施設、空き空間などを利用した誰でも気軽に集える場がたくさんある
 - ②年齢や性別、障害の有無、国籍、文化の違いなどを越えた多彩なつながりが生まれ、互いに助け合う気持ちは自然と育まれている
 - ③家族のようなつながりを生み出す住まい方が広がっている
- つながりにより安全安心のコミュニティが実現し、いざというときに孤立を防ぐセーフティネットが構築されている**
 - ①住民主体で、高齢者や障害のある人などが必要な人への見守り活動や日常生活の相互支援が広がっている
 - ②地域で協力して自主的な防災や防犯の取組が進んでいる
 - ③困った時に相談する人が身近にいて孤立せず、必要なサポートが受けられる
- 一人ひとりが大切にされ、共に生きる意識が高まる中、誰にとっても利用しやすいモノ、情報、サービスが普及するとともに、誰もが安全で快適に暮らせるまちが実現している**
 - ①モノや情報などが、消費志向の変化や、高齢者、女性、障害のある人、外国人県民などの多様化するニーズに柔軟に対応している
 - ②さまざまなサービスが利用する人の立場にたって提供されることで、誰もが不便なく利用することができ、また誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりが進んでいる

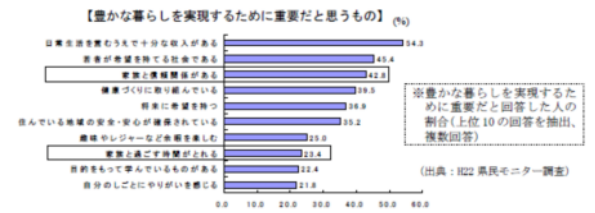
将来像の概要を記載。
次ページ以降に続く個別将来像の目次ともなる。

- 家族の絆の大切さと、結婚や出産、子育ての喜びを実感できる**
 - ①家族で過ごす機会が増え、互いの絆を実感できる
 - 家族で過ごす時間が増え、家族間の信頼が深まっている。
 - 住宅ストックが有効活用され、人々の柔軟な住み替えが可能になり、同居だけでなく、近居・隣居などさまざまな住まい方で、家族が支え合いながら暮らしている。

個別将来像の内容を地域や生活の場面に即して描く。

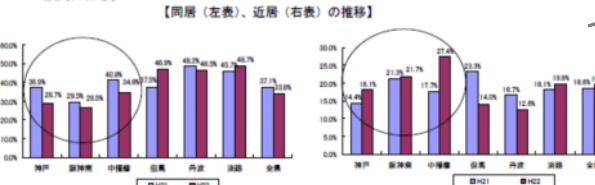
始まっている取組等

＜豊かな暮らしを実現する大きな要素は家族との関係＞
—家族との信頼関係、家族と過ごす時間は豊かな暮らしを実現するための大きな要素となっている。



県民の意見
▶地域の発展は家庭が原点。家庭で対話、交流していくことが大事。(兵庫みらいフォーラム)
▶家族相互の信頼関係を築くための努力が必要。(阪神北地域夢会議)

＜緩やかなつながりを志向した住まい方＞
・都市部では、同居が減少する一方、親世帯と子世帯が近所で互いに支え合う「近居」が増加傾向にある。



※ここでは、同居とは二世帯住宅または敷地内での住まい方のこと、近居とはおおよそ15分以内で行ける場所に住居を構える住まい方のこととしている。(出典：兵庫県「美しい兵庫指標」県民意識調査)

個別将来像の背景となる強み、資源(データや事例など)を記載。

- 取組の視点
- ◇ 家族が過ごす時間を増やすための取組支援
 - ◇ 家族がつながりやすい住まい方の創造

将来像を実現していくための取組の視点を記載。

《「地域」の捉え方について》

各将来像で描く地域は、概ね次の地域を想定している。

1 「農山漁村の小規模集落」

- ・ 播磨、但馬、丹波、淡路などの農山漁村集落を想定。
- ・ 本県の「小規模集落元気作戦」は、概ね 65 歳以上人口比率 40%以上かつ 50 世帯以下の集落を対象としているが、将来像の「小規模集落」はより広く一般的な意味で用いている。

2 「多自然地域の中心都市」

- ・ 播磨、但馬、丹波、淡路などの中心都市を想定。
- ・ 具体には、西脇市街地、小野市街地、加西市街地、山崎市街地（宍粟市） 龍野市街地、豊岡市街地、八鹿市街地（養父市）、和田山市街地（朝来市）、篠山市街地、洲本市街地などを想定。

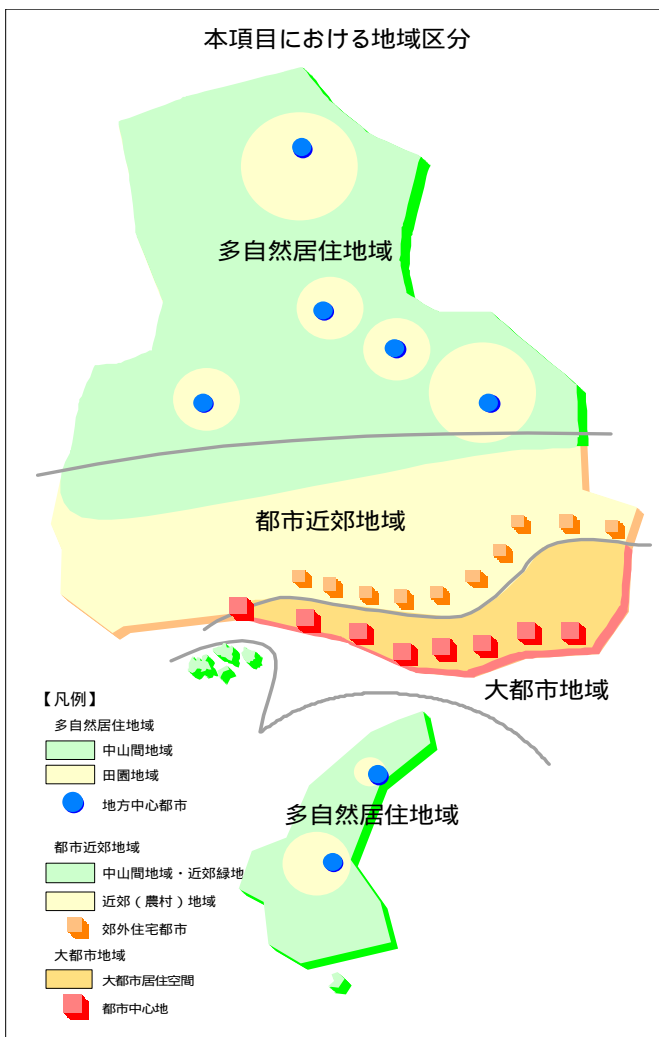
3 「郊外のニュータウン」

- ・ 主に神戸、阪神の都市近郊に位置し、高度成長期以降に住宅地として開発された地域を想定。
- ・ 具体には、明石・舞子（明石市・垂水区） 名谷（須磨区） 西神（西区） 北摂（北区、三田市） 宝塚市、川西市、三木市、猪名川町などの高度成長期以降に開発された住宅地を想定。

4 「瀬戸内臨海部の都市」

- ・ 神戸、阪神、播磨の瀬戸内臨海部の人口が集中する都市地域を想定。

* 必ずしも全県を隙間なくカバーする地域区分とはしていない。中間の地域については関係する将来像の双方を参照。



左の地域区分との対照

1 「農山漁村の小規模集落」

「多自然居住地域」の「中山間地域」「田園地域」に加え、「都市近郊地域」の「中山間地域・近郊緑地」「近郊（農村）地域」にも概ね対応。

2 「多自然地域の中心都市」

「多自然居住地域」の「地方中心都市」に概ね対応。

3 「郊外のニュータウン」

「都市近郊地域」の「郊外住宅都市」に概ね対応。

4 「瀬戸内臨海部の都市」

「大都市地域」に概ね対応。